



国道49号 水原バイパス

部分開通後の交通状況の変化と整備効果について

令和4年12月4日(日)に部分開通した国道49号水原バイパス(阿賀野市百津～同市下黒瀬)の開通後の交通状況の変化と整備効果についてお知らせします。

部分開通1年後の交通状況と整備効果

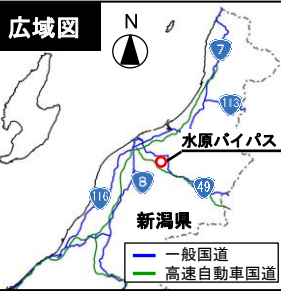
※現道:位置図の紫線

<交通状況>

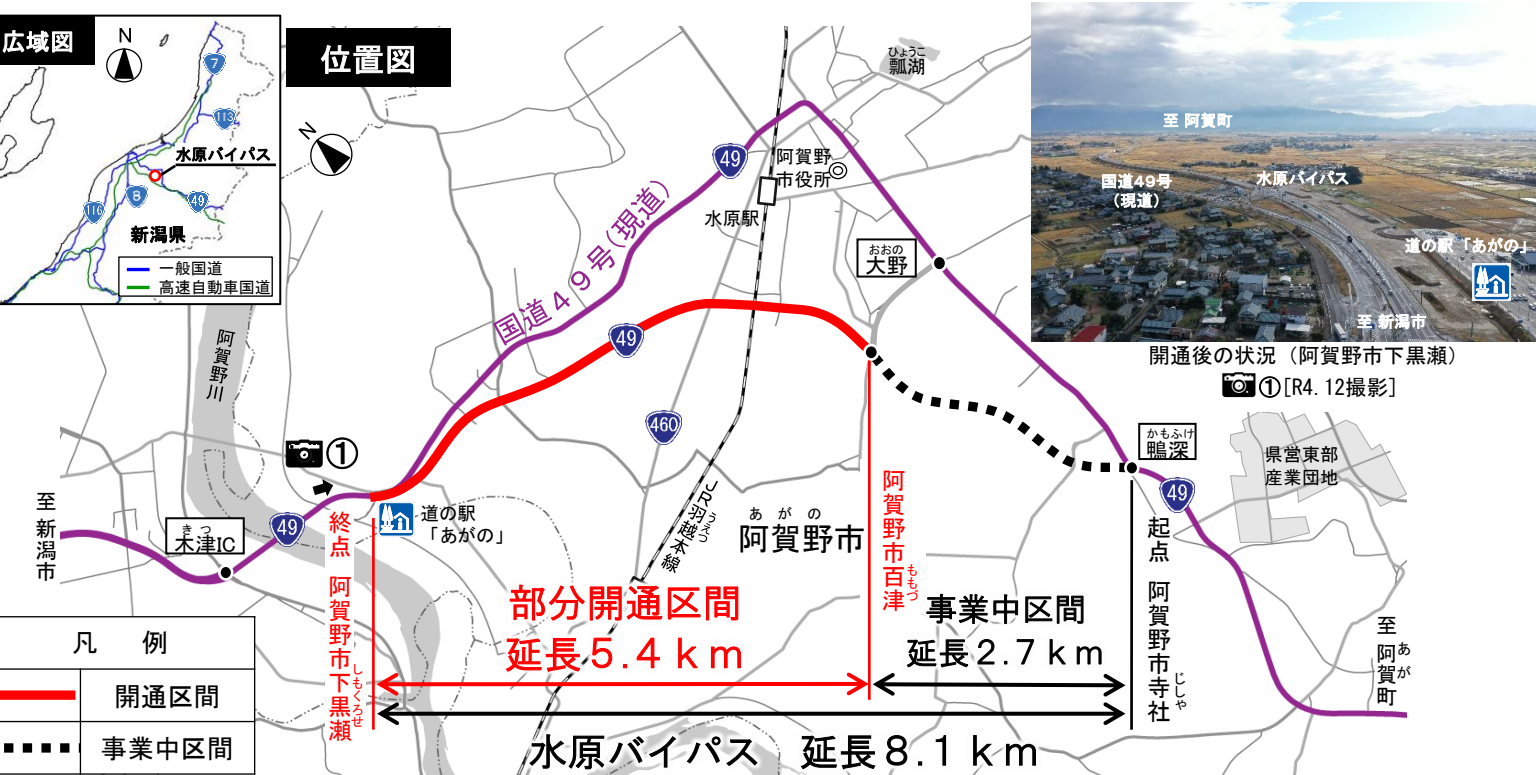
○水原バイパスの交通量は約8,600台/日となり、現道※の交通量は約30%(約5,100台)減少、大型車は約40%(約800台)減少し、水原バイパスへ交通が転換されました。

<整備効果>

- ① 現道の事故が開通前後で5件減少し、現道の安全な走行環境を確保。
- ② 現道の騒音レベルが環境基準値以下になり、沿道の生活環境が改善。
- ③ 商品輸送の効率化や就業者の利便性向上により、大野交差点周辺エリアの企業活動を支援。
- ④ 観光地までのアクセス向上やイベント開催時による交通負荷の軽減等により、地域観光を支援。



位置図



凡 例	
	開通区間
	事業中区間

お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

調査課長 水道 龍次 (すいどう りゅうじ) (内線451)

新潟市中央区南笹口2-1-65
電話 025-244-2159(代表)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>
FAX 025-246-7763



【交通状況の変化】 開通区間の交通状況

位置図



【混雑状況の緩和(瓢湖入口交差点付近)】



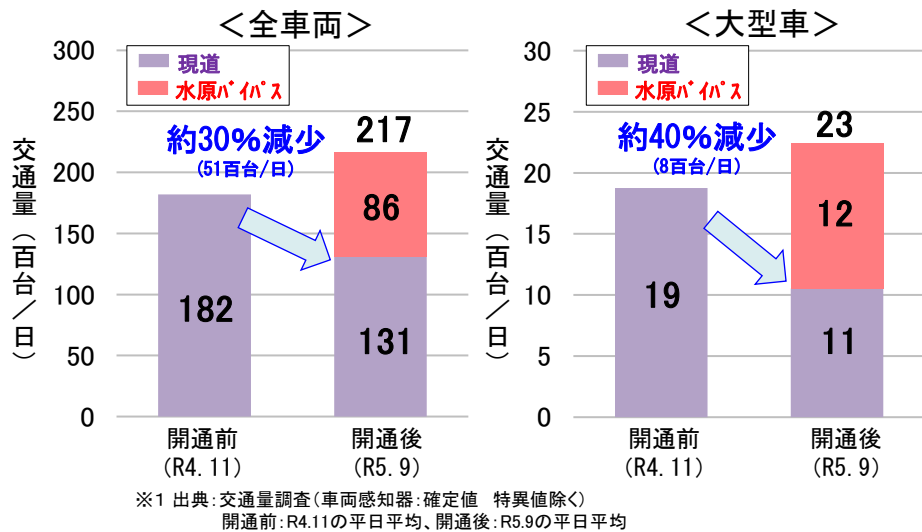
開通前の通勤時間帯の状況 [R3. 11. 18撮影]



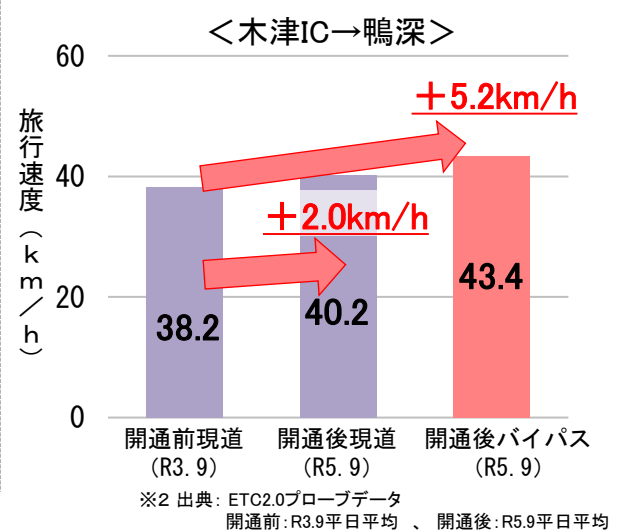
開通後の通勤時間帯の状況 [R5. 12. 4撮影]

- 水原バイパスの交通量は約8,600台/日となり、現道の交通量は約30% (約5,100台) 減少、大型車は約40% (約800台) 減少し、水原バイパスへ交通が転換されました。
 - これに伴い、市街地部の交通混雑が緩和し、現道の旅行速度も向上しました。
- ※バイパスと現道の分岐部では通勤時間帯における短時間の交通集中により混雑が確認されています。引き続き調査を実施し、必要な対策を検討してまいります。

【断面交通量※1の変化】



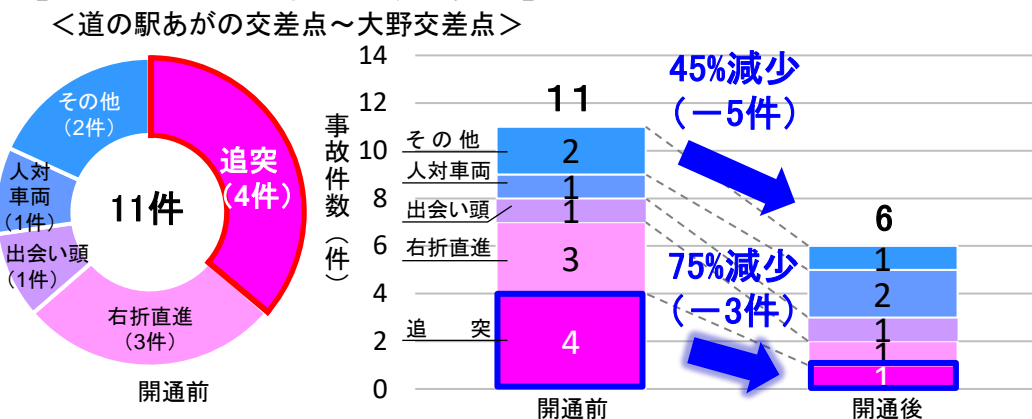
【旅行速度 上り線(朝ピーク7時~9時)※2】



【効果①】 安全な走行環境 (事故) の確保

- 現道の事故が開通前11件から開通後6件と5件減少(約45%)しています。
- また、追突事故の件数も約75%減少し、水原地区の安全性が向上しました。

【現道で発生した事故件数の変化】



所轄警察署の声(R5.11)

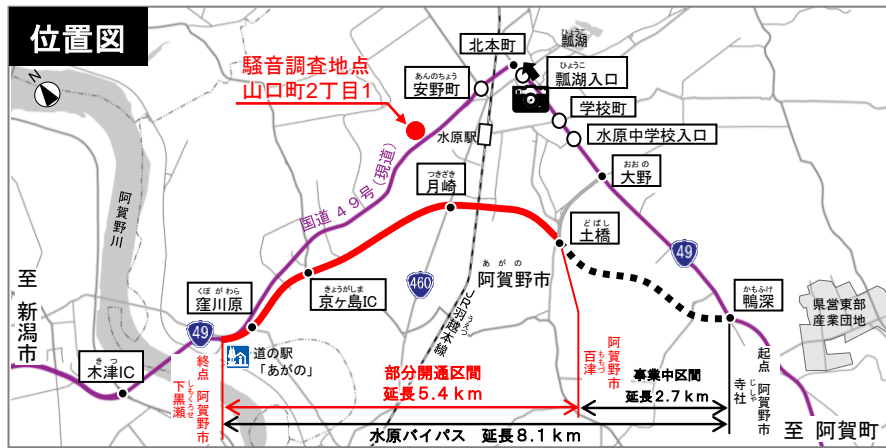
○バイパスの開通により、水原地区での事故件数が減少したことで、水原地区の安全性が向上したと感じています。

○一方で、アクセス道路(土橋~大野)の利用が増加することで交通事故の危険性もあるので、より一層の安全運転をお願いしたいと思います。

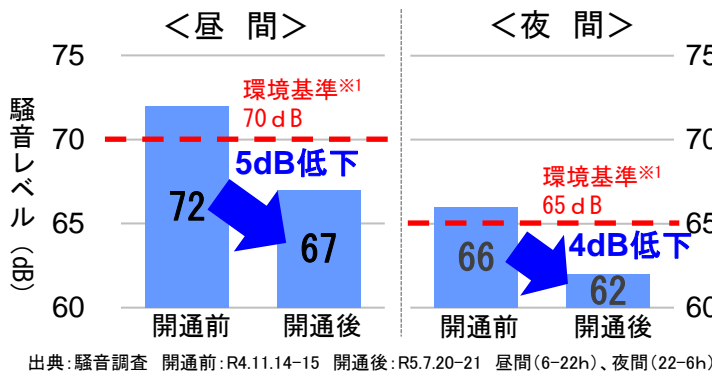


【効果②】沿道環境（騒音）の改善効果

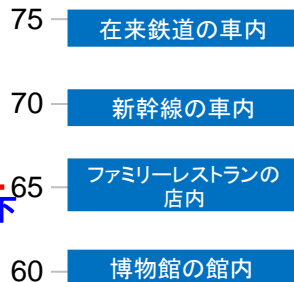
○現道の騒音レベルが最大5dB低下し、昼夜ともに環境基準※1値以下となったことで、沿道の生活環境が改善しました。



開通前の大型車の走行状況 [R3.11.18撮影]



【騒音の目安】※2



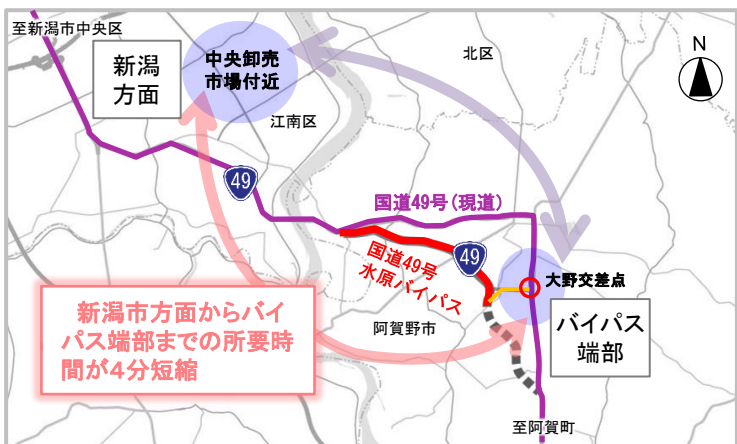
※1 環境基準: 人の健康の保護及び生活環境の保全のうえで維持されることが望ましい基準

※2 騒音の目安: 環境省HP 全国環境研協議会 騒音調査小委員会

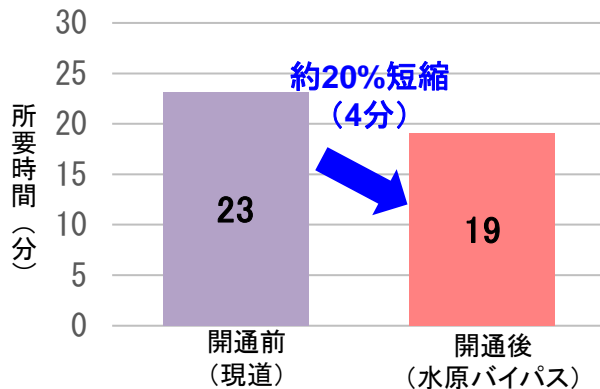
【効果③】大野交差点周辺エリアの企業活動支援

○現道の大野交差点周辺エリアには、多くの商業施設等が立地しています。

○開通後、大野交差点～新潟市方面における所要時間が4分短縮し、同エリアに位置する企業の商品輸送の効率化や就業者の利便性向上など企業活動を支援しています。



【新潟方面⇄バイパス端部の所要時間(上下線平均)】



※出典: ETC2.0プローブデータ

開通前: R3.9平日平均、開通後: R5.9平日平均(12h上下線平均)
新潟方面(中央卸売市場付近)、バイパス端部(大野交差点)

大野交差点周辺企業の声 (R5.11)



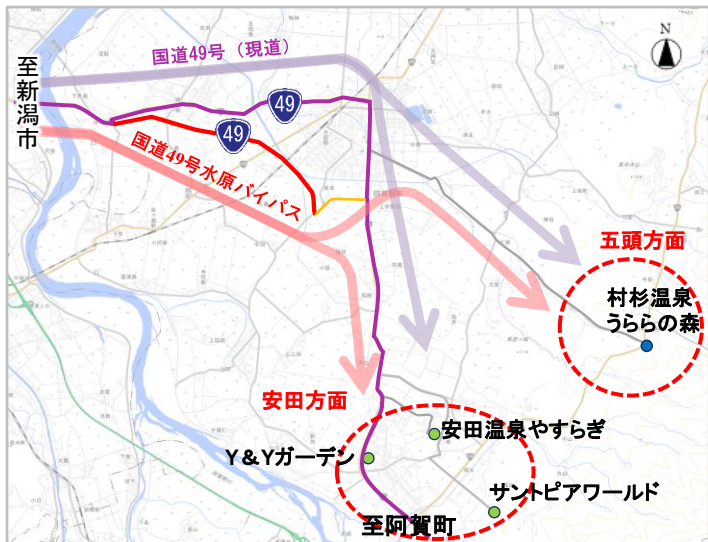
○新潟市方面から大野交差点周辺への輸送は、開通前は、午前中交通量が多く、渋滞にはまることが多かったが、開通後はバイパスを利用することでスムーズに運転することができ、時間通りに動いています。(物流業者)



○日中に業務で新潟方面へ行く時は移動時間が短くなり助かっています。(周辺企業)

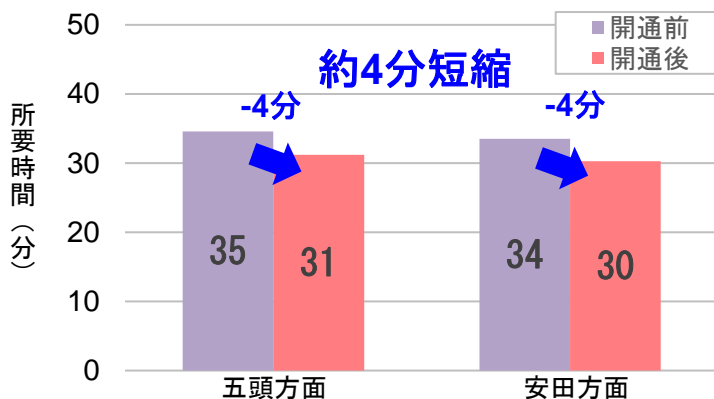
【効果④】 観光支援

○水原バイパスの部分開通後、観光地までの時間短縮や走行ルートが増え、交通が分散したことにより、主要観光地までの平均所要時間が約4分短縮され、誘客を支援しています。



参考：R3新潟県観光入込客統計より
年間観光入込客が5万人以上の観光地

【新潟駅→主要観光地までの平均所要時間※】



※開通前は現道を、開通後はバイパスを使用するルートで算定
所要時間は、各方面の主要観光施設までの平均値
出典：ETC2.0プローブデータ 開通前：R3.9、開通後：R5.9(休日12h平均)

観光施設の声 (R5.11)



○新潟市からのアクセスが良くなり、新潟市の方や海外の方の来場も少し増えたと感じます。(観光施設)



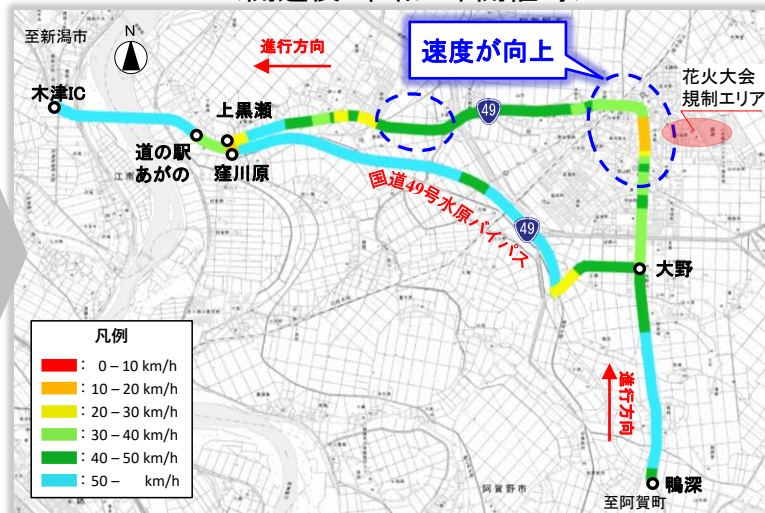
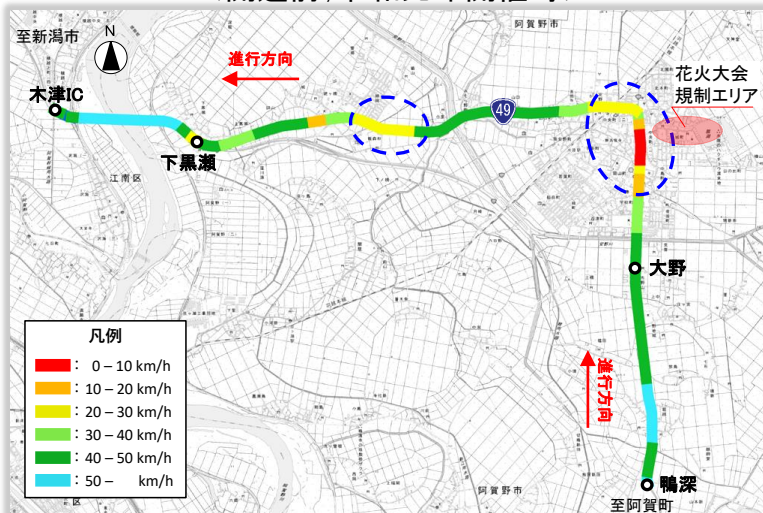
○いつも利用されているお客様からは、近くなり楽になったという声を聞いています。(温泉施設)

○水原バイパスの部分開通により、イベント開催後(水原まつり)の交通混雑が軽減し、円滑な交通を確保することで、観光振興を支援しています。

【花火大会終了1時間後の周辺平均旅行速度(新潟方面)】

<開通前;令和元年開催時>

<開通後:令和5年開催時>



出典：ETC2.0プローブデータ 開通前：R1.8.25、開通後：R5.8.25 花火終了後20時30分～21時30分下り線

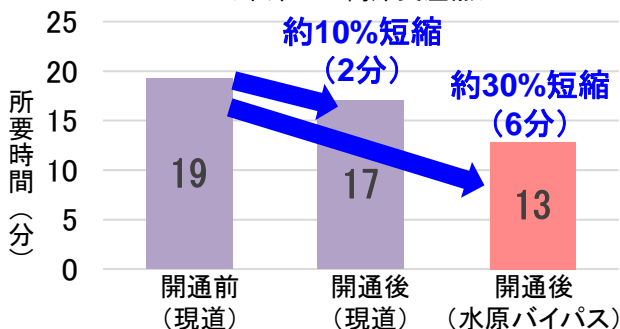
水原まつり主催者の声 (R5.11)



○前回開催(R元年)より来場者は多かったですと感じますが、交通規制中は、例年より現道の混雑が緩和していたように感じました。
○露天商の方は、遠方から来るのでバイパスができてスムーズに来れたと思います。

【花火大会終了1時間後の所要時間】

<木津IC←鴨深交差点>



出典：ETC2.0プローブデータ 開通前：R1.8.25、開通後：R5.8.25 花火終了後の20時30分～21時30分下り線平均